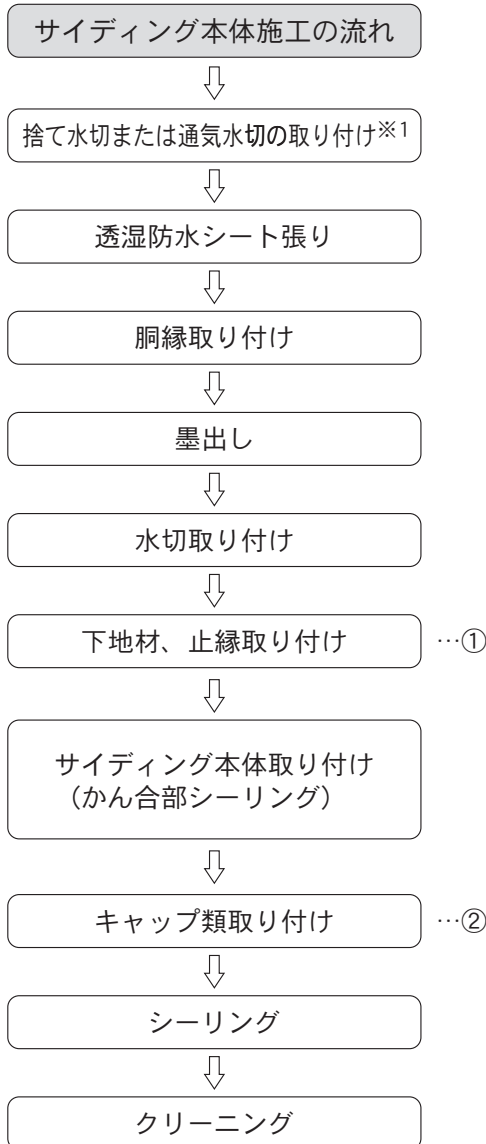


6 施工の手順とポイント

6-1. 施工の流れ

たて張りの場合



※1 水切15Sまたは通気水切15を使用する場合。

① 先付け部材

② 後付け部材

たて張りに使用する部材

部位	必要部材	手順
土台部	水切15S／通気水切15 縦用スターター15 アルミ縦用スターター15	① ① ①
出隅部	〔 出隅下地15N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 〕	① ② ②
入隅部	止縁C15 〔 入隅下地15S 入隅キャップ15-25S 〕	① ① ②
縦継ぎ部	水切15S 縦用スターター15	① ①
軒部	通気軒見切15-25 止縁C15 〔 止縁捨板 止縁キャップC15 〕	① ① ① ②
見切り下屋部	縦用スターター15	①
笠木部	通気水切15 縦用スターター15	① ①
下がり壁部	下がり壁水切D45 縦用スターター15	① ①
開口部	上	捨板 (15×85) 小口カバー15 ① ①
		捨板 (15×85) 止縁C15※2 ① ①
	左右・下	〔 止縁C15 止縁捨板 止縁キャップC15 〕 ① ① ②
	隅角	〔 開口部コーナーパッキン ワンタッチコーナーキャップ15-25 〕 ① ②

注) 部材の〔 〕内は、セットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。
各商品の部材規格をご確認ください。

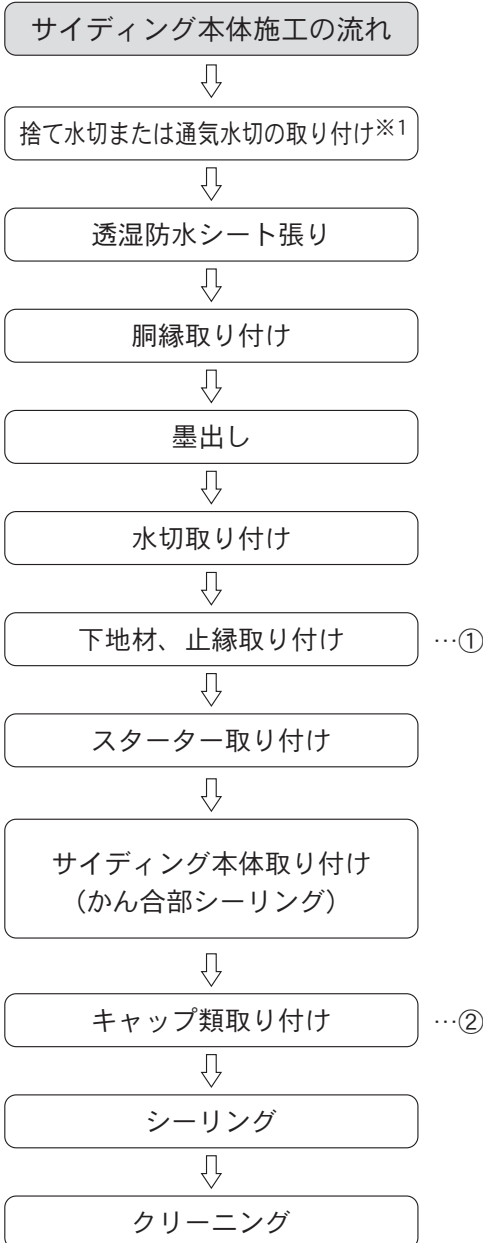
※2 水抜き穴 (φ8@300mm) の現場加工が必要です。

①先付け部材

②後付け部材

6-1. 施工の流れ

よこ張りの場合



※1 水切15Sまたは通気水切15を使用する場合。

① 先付け部材

② 後付け部材

よこ張りに使用する部材

部位	必要部材	手順
土台部	水切15S／通気水切15 スターター15S	① ①
出隅部	〔 出隅下地15N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 〕 段出隅	① ② ② ②
入隅部	〔 止縁C15 入隅下地15S 入隅キャップ15-25S 〕	① ① ②
横継ぎ部	〔 段Tジョイナー15-25 段キャップ類 フラットTキャップ15 〕 〔 ワンタッチTジョイナー15N ワンタッチHキャップ15-25 〕	① ② ② ① ②
軒部	通気軒見切15-25 止縁C15 〔 止縁捨板 止縁キャップC15 〕	① ① ① ②
見切り下屋部	スターター15S 縦用スターター15	① ①
笠木部	通気水切15 スターター15S	① ①
下がり壁部	下がり壁水切D45 スターター15S 縦用スターター15	① ① ①
開口部	上	捨板 (15×85) 小口カバー15
		捨板 (15×85) 止縁C15※2
	左右・下	〔 止縁C15 止縁捨板 止縁キャップC15 〕
	隅角	〔 開口部コーナerpッキン ワンタッチコーナーキャップ15-25 〕

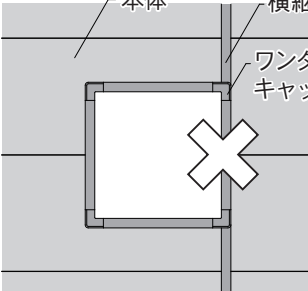
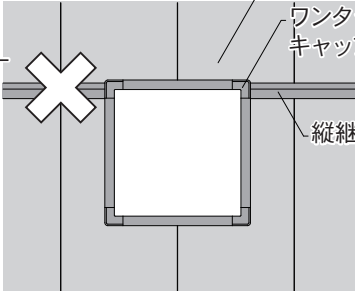
注) 部材の〔 〕内は、セットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。各商品の部材規格をご確認ください。

※2 水抜き穴 (Φ8@300mm) の現場加工が必要です。

①先付け部材

②後付け部材

6-2. 納まりのポイント

1. 割り付け	・デザイン、作業効率、材料のロス、開口部の位置などを考慮して、本体のジョイント位置を決めます。下図のような割り付けは避けてください。 ・本体が極端に短くならないよう注意してください。 ・横継ぎ部、出隅部などの納めには複数の部材を用意しています。デザイン性・施工性を考慮し選択してください。その際、キャップ類と捨板類の組み合わせについて間違いがないか確認してください。  									
2. 水切の施工	・通気水切15を使用する場合は、胴縁を施工する前に施工してください。水切15Sを使用する場合は、胴縁を施工した後に施工してください。									
3. 胴縁の施工	・胴縁は柱、間柱、土台、桁材などに取り付けます。開口部周囲は、通気経路を確保してください。通気の出入り口には、必要に応じて防虫網を取り付けてください。 ・使用する部材の納まり図を参照の上、胴縁を手配してください。 <table><tr><th>張り方向</th><th>胴縁間隔</th><th>胴縁サイズ</th></tr><tr><td>たて張り</td><td>500mm以下</td><td> 一般部、出隅部：18×45mm以上 土台部、縦継ぎ部、開口部など:18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル） ・横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。 防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨します。 </td></tr><tr><td>よこ張り</td><td>500mm以下</td><td> 一般部、出隅部：15×45mm以上 横継ぎ部、開口部など:15×90mm以上、または15×45mm以上（ダブル） </td></tr></table>	張り方向	胴縁間隔	胴縁サイズ	たて張り	500mm以下	一般部、出隅部：18×45mm以上 土台部、縦継ぎ部、開口部など:18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル） ・横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。 防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨します。	よこ張り	500mm以下	一般部、出隅部：15×45mm以上 横継ぎ部、開口部など:15×90mm以上、または15×45mm以上（ダブル）
張り方向	胴縁間隔	胴縁サイズ								
たて張り	500mm以下	一般部、出隅部：18×45mm以上 土台部、縦継ぎ部、開口部など:18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル） ・横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。 防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨します。								
よこ張り	500mm以下	一般部、出隅部：15×45mm以上 横継ぎ部、開口部など:15×90mm以上、または15×45mm以上（ダブル）								
4. 墨出し	・墨出しを行い、部材を水平、垂直に施してください。									
5. 先付け部材の施工	①土台部：水切 ②開口部：止縁、捨板類 ③軒部：止縁、捨板類 ④隅角部：下地類 ⑤横継ぎ部：下地類 ⑥土台部：スターター ・施工前に、キャップ類と下地部材の組み合わせについて間違いがないか確認してください。 ・スターター15Sは、出隅下地、ジョイナーなどを取り付けた後に施工してください。（スターター15Sを先に施工すると、キャップの取り付けの妨げになります。） ・部材同士の納まりを考慮して施工してください。特に水が浸入した場合の排水経路の確保に留意してください。 ・水切の片側に切り欠き加工がされており、左右の接続が容易に行えます。切断して左右を接続する場合は、同様に切り欠き加工してください。 ・シーリング軽減工法では、開口部の4隅すべてに開口部コーナーパッキンを施工することが重要です。									

6-1. 施工の手順とポイント

6. 本体の取り付け ①本体の切断、加工
--

6. 本体の取り付け ②施工期間中の養生	・ 施工期間中は、雨水が本体の裏側に入らないよう養生してください。
③本体の施工	・ かん合の際は、必要以上に強く押し付けすぎると変形のおそれがありますので注意してください。 ・ 開口部などで本体を切り欠く際は、各部材の位置を確認し本体に無理な力がかからないように切り欠き寸法を設定し切断してください。また、本体を変形させるような無理なめ込みは避けてください。 ・ 本体は、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。ただし、SF-ガルステージシャイン、NFI/NPT/NPシリーズは、働き幅以下になる場合もありますが、目地幅を整えて施工してください。 ・ 本体を切り欠き加工すると強度が低下し破損しやすくなります。持ち運び時には切り欠き部に当て板を当てるなどして、破損しないように注意してください。かん合部の両側を切り欠いた際は特に注意してください。採寸時にご留意ください。

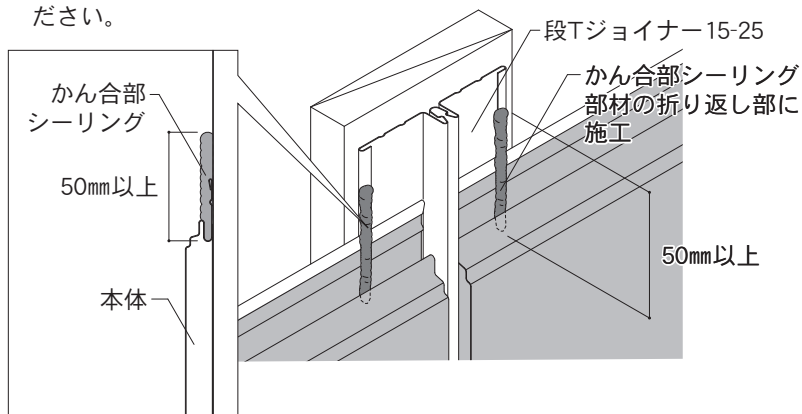
④かん合部シーリングの施工

●よこ張りの場合

施工部位

- ・出隅部
- ・横継部
- ・入隅部
- ・開口部（左右）

- ・本体の端部1枚ごとに、かん合部シーリング（50mm以上）を部材の折り返し部に施工してください。本体かん合部にシーリングを施すことで、雨水が部材の折り返し部を乗り越えて内部に浸水する事を防ぎます。詳細は各納まり図を参照してください。

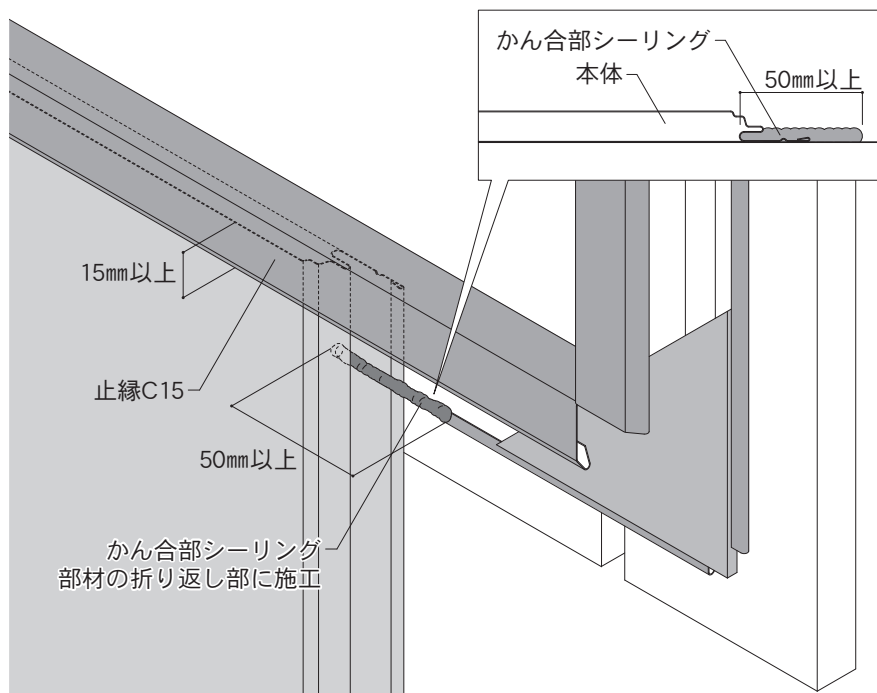


●たて張りの場合

施工部位

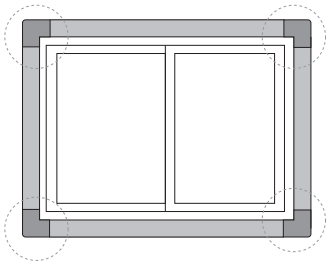
- ・開口部（下）

- ・本体1枚ごとに、かん合部シーリング（50mm以上）を部材の折り返し部に施工してください。本体かん合部にシーリングを施すことで、雨水が部材の折り返し部を乗り越えて内部に浸水する事を防ぎます。詳細は各納まり図を参照してください。
- ・開口部下において、本体と止縁C15、止縁キャップC15の重なり代を15mm以上確保する事で、雨水が本体を乗り越えて内部に吹き上がり浸入する事を防ぎます。



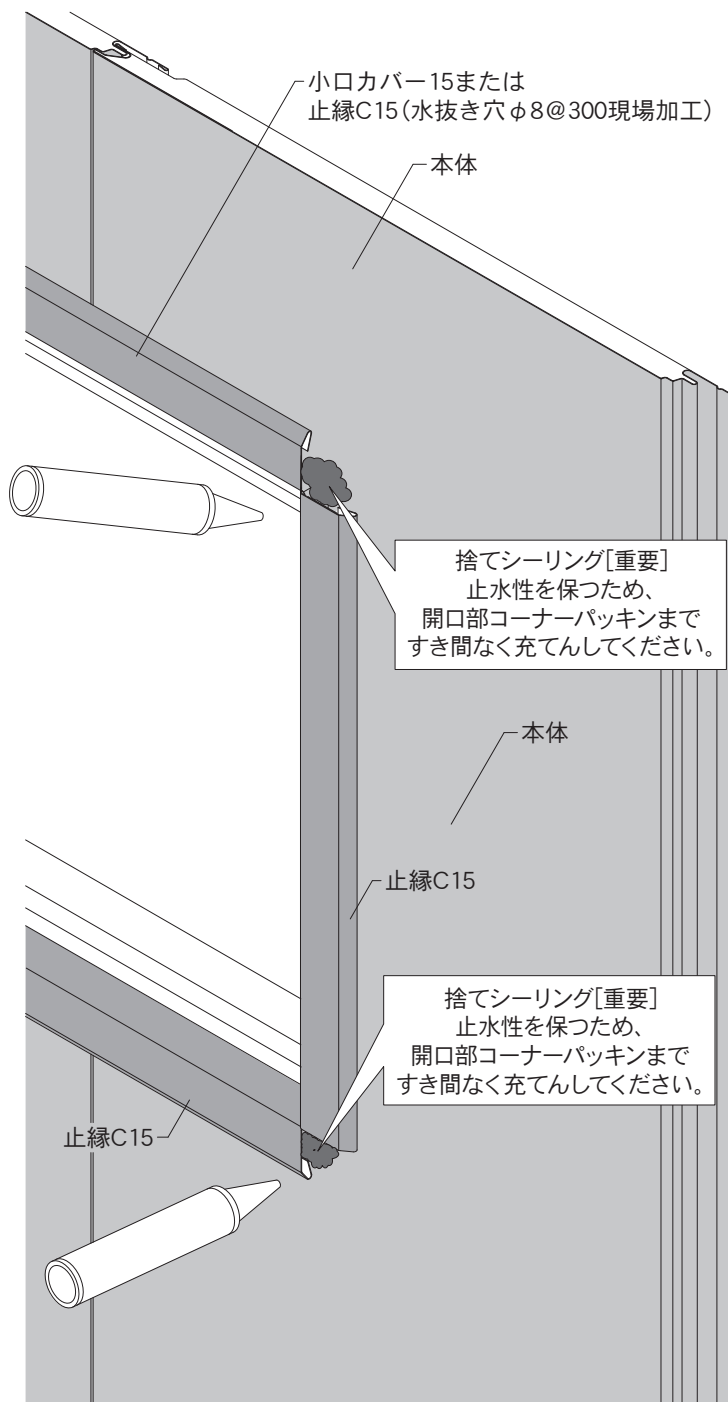
6. 本体の取り付け

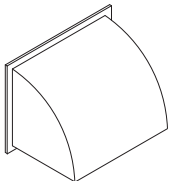
⑤開口部隅角部（4箇所）のシーリングの施工

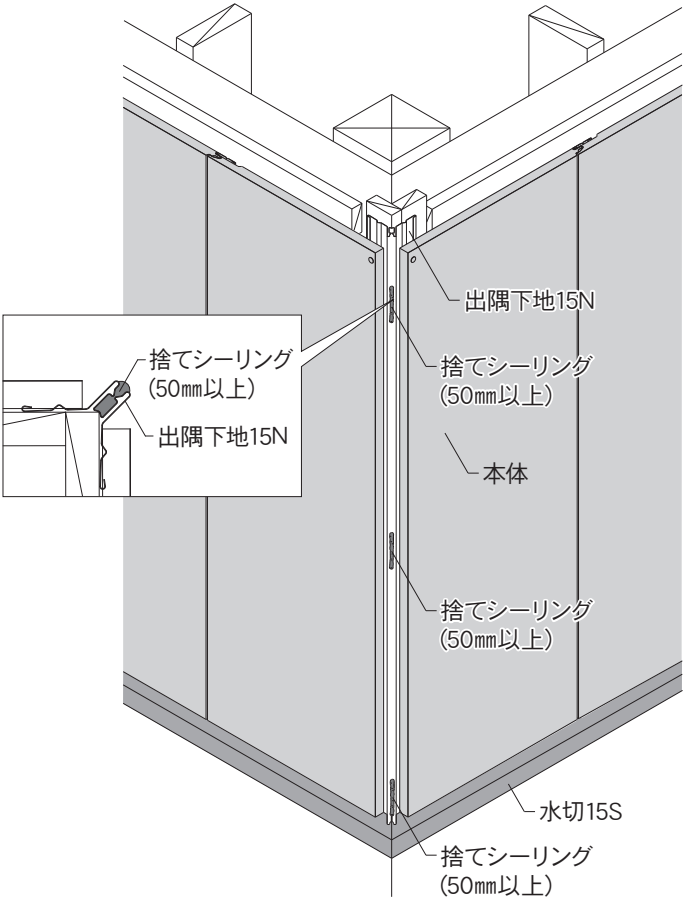
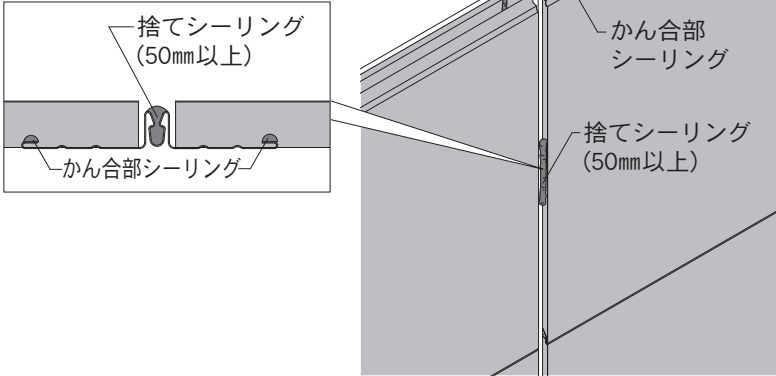


・開口部の隅角部（4箇所）すべてのすき間に施工する捨てシーリングは、性能を確保するために、次の2つの目的がありますので留意ください。

- I. 止水性を保つため、本体と部材の隅角部のすき間には、開口部コーナerpッキンまですき間なく捨てシーリングを充てんしてください。開口部上と下の隅角部に開口部コーナerpッキンを使用し捨てシーリングを充てんすることで、開口部の本体と止縁C15のすき間より浸入した雨水が、開口部コーナerpッキンとシーリング充てん部より内部への浸入を防ぎ外に雨水が排出されます。シーリング材が確実に充てんされず、本体、部材、開口部コーナerpッキンの間にすき間があると十分な止水性が得られませんので注意してください。



6. 本体の取り付け ⑥換気口周りの施工 	・部材と換気口の間は、シーリング材を施工してください。 ・換気口などの取り合いでは、本体かん合部から壁内部への水の浸入を防止するために捨てシーリングが必要です。本体を一枚張るごとに縦走り防止シーリング又は横走り防止シーリングを施工してください。
●縦走り防止シーリングの施工	・縦走り防止シーリングは、本体の施工後に部材と本体の間に行うシーリング材とつながるように施工してください。
●横走り防止シーリングの施工	・横走り防止シーリングは、本体の施工後に部材と本体の間に行うシーリング材とつながるように施工してください。

7. 後付け部材の取り付け ①下地材への捨てシーリングの施工 ●長物のキャップ部材の場合 対象部材 ・3M出隅キャップ15-25 ・4M出隅キャップ15-25 ・入隅キャップ15-25 ・ワンタッチHキャップ15 ・フラットTキャップ15 - など	・キャップ部材を施工する前に脱落防止のため、捨てシーリングを施工してください。施工するキャップ部材の長さにより、施工箇所が異なりますので対象部材を確認し、確実に施工してください。 ・キャップ部材の脱落防止のため、下地部材の上下端部、中央部の3か所に捨てシーリングを差し込み部分に50mm以上施工してください。図は、たて張りの出隅下地15Nですが、よこ張りも同様です。 
●本体と同じ長さのキャップ部材の場合 対象部材 ・段出隅 ・段キャップ	・キャップ部材の脱落防止のため、キャップ部材一本ごとに下地部材の差し込み部分に50mm以上の捨てシーリングを施工してください。図は、段Tジョイナー15-25ですが、出隅下地15Nも同様です。 

7. 後付け部材の取り付け ②キャップ部材の施工	・キャップ部材は捨板とのはめ込み式になっています。確実にハマっているか確認してください。 ・段出隅、段キャップは下段から施工してください。
8. シーリング・補修	・シーリング、塗料の被着面が高温の場合は施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどに注意してください。
9. 清掃・廃材処理	・製品表面をクリーニングする場合は、水または中性洗剤で洗浄してください。中性洗剤は水でよく洗い流してください。この際、堅いブラシは使用しないでください。 ・包装材・残材などの廃材は、産業廃棄物として適切に処分してください。
10. 積雪の影響（雪の負荷）のある地域	・雪の積もる高さまで胴縁の間隔を狭くするなどの対処をしてください。 ・水切15S及び通気水切15は、雪の重みで変形するおそれがありますので、当て木を入れるなどの対処をしてください。 ・本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。 ・縦用スターター15は、雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします。 アルミ縦用スターター15を使用する際 ・アルミ縦用スターター15同士を接続する際は、熱伸縮を考慮し2mm程度のすき間をあけて施工してください。 ・アルミ縦用スターター15と商品は塗装方法が異なりますので、商品と同じ色名でも色調に差があります。あらかじめご了承ください。 